

青少年教育・体験活動ボランティア養成フォローアップ研修 ～自然体験活動指導者養成研修～

平成28年7月9日(土)～10日(日)

【目的】

自然体験活動の指導者に求められる基本的な知識・技能を習得し、青少年をはじめとする多くの人々の自然体験活動を推進する指導者を養成する。

【参加者】 大学生4名、社会人6名

【プログラムの内容】

7月9日(土)

- 10:00 開講式、ガイダンス1 講師：本所所長 小林
- 11:00 自然体験活動の指導Ⅰ 講師：本所職員
- 13:00 自然体験活動の特質Ⅰ 講師：森の案内人
- 15:00 自然体験活動の技術 講師：本所職員
- 20:00 自然体験活動の特質Ⅱ 講師：本所所長 小林

7月10日(日)

- 9:00 対象者理解 講師：コミュニティスクールコンダクター 長尾彰氏
- 10:45 自然体験活動の指導Ⅱ 講師：本所職員
- 13:45 ガイダンス2 講師：本所所長 小林
- 14:15 認定試験
- 15:00 閉講式

ガイダンス1, 自然体験活動の指



NEALの仕組みやカリキュラムについての説明を聞きました。続いて、自然体験活動の指導者にとって必要なことは何か考え、今回の研修の目的を確認しました。

自然体験活動の特質Ⅰ



森の案内人に自然の家周辺の様々な自然を紹介してもらいながら、自然の感じ方や子供に関心を持たせる方法を学びました。

自然体験活動の技術



野外炊飯における危険予知トレーニングを行い、安全管理を意識しながら実際に薪割り、火つけ、調理、片付けを行いました。

自然体験活動の特質Ⅱ



自然体験活動の意義や課題などのレクチャーを受け、指導者に求められるスキルについて学ぶことができました。

対象者理解



青少年の現状や取り巻く環境について知り、子供達と接する時の関わり方について学びました。

自然体験活動の指導Ⅱ



この2日間を振り返り、学んだことや気づいたことを参加者同士で交流しました。

自然体験活動指導者に必要なことは・・・
「企画力」、「運営力」、「指導力」etc



ガイダンス2, 認定試験

最後は、自然体験活動指導者として認定されるための試験を行いました。

【参加者の声】

自然の中で活動した時に植物に対する興味が増した。自然体験活動の効果や意味を理解することができた。

【成果】

自然体験活動の意義について伝えることができた。自然体験の良さや効果を考える機会になった。8名がNEALリーダー登録をした。

【課題】

NEALの資格を生かせる場を工夫していく。